



2020年5月1日

各位

会社名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード: 3762、東証第一部)
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 森脇 喜生
(TEL. 03-4405-7802)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月9日に公表した2020年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2020年3月期 連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益※
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,800	2,460	2,460	1,600	83.89
今回修正予想 (B)	28,550	3,020	3,010	1,860	93.60
増減額 (B-A)	1,750	560	550	260	
増減率 (%)	6.5	22.8	22.4	16.3	
(ご参考) 前期実績	25,418	2,418	2,352	1,470	82.15

※ 前回発表予想における1株当たり当期純利益は、2019年3月末時点の自己株式を除く期末発行済株式数により計算しております。(以下、同じ。)

2020年3月期 個別業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益※
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,900	1,750	1,200	62.92
今回修正予想 (B)	20,910	2,280	1,430	71.96
増減額 (B-A)	2,010	530	230	
増減率 (%)	10.6	30.3	19.2	
(ご参考) 前期実績	18,075	1,763	1,174	65.60

- 修正の理由

2020年3月期における売上高は、継続的なセキュリティ投資の需要の高まりを背景に、情報セキュリティ関連製品等の売上げが堅調に推移したほか、従前より戦略的に推進している「ストック型ビジネスの拡大」が奏功したことなどにより、前回予想を上回る見通しとなりました。

また、利益につきましても増収効果ならびに販売費および一般管理費の計画比減に加え、アプリケーションサービス分野における売上げの伸長による利益の拡大、事業構造改革の推進による採算性の改善により、前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響について、当社2020年3月期業績への影響といたしましては、リモートアクセスに関連するセキュリティ製品に一部需要の増加がございました。一方で、現時点においては、新型コロナウイルス感染症の影響から顧客のIT投資の動向が見通しづらく、今後の当社業績につきましても非常に見通しづらい状況となっております。

以 上